

平成 28 年度 学校法人 三幸学園 大阪ウェディング&ブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 山内 陽介

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 野村 英司

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・退学率の低減
- ・学校全体での統一した指導の徹底

② 学校関係者評価委員会コメント

- ◆退学者がここまで減ったのは素晴らしい。
- ◆統一した指導を行って行く事を今後も継続出来るように、新講師に対しての教育も計画的に行って行ければ尚良い。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・業界のニーズの把握がしきれていない。

② 今後の改善方策

・教育編成委員会などを通し、より現場のニーズを反映した将来構造を立てていく。

③ 特記事項

③ 学校関係者評価委員会コメント

◆社会経済のニーズというところで、社会人ターゲットや留学生から選ばれるようなカリキュラムなどを編成していない。外国人をターゲットにしたビジネスはブライダル業界でも増えているのに、雇用面に関しては留学生を受け入れているブライダル企業は少ない。学校と企業が連携して留学生の受け入れの取り組みを行っていけると良い。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・学生管理システムが老朽化している。
- ・コンプライアンスに対する意識の向上が必要。

② 今後の改善方策

- ・学生管理システムを一新する。（平成 31 年度～予定）
- ・コンプライアンスに対する意識を向上、共通認識を持つ為の映像研修の実施。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

◆生徒と教員の関係性について、今まで問題としてあがったことはないが、今後もアカデミック・ハラスメント等に関心を持って指導を行っていきたい。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・教員の生徒対応に差がある。
- ・人材確保(教員・講師)が年々し辛くなっている。
- ・研修の効果検証が出来ていない。

② 今後の改善方策

- ・教科会やクラス会の実施。
- ・教員採用のスケジュールの見直し。
- ・指導力向上の為に研修の機会を増やす。

③ 特記事項

④学校関係者評価委員会コメント

- ◆人材確保が出来ることで先生に長く努めて頂くと、力量の差が減り、生徒対応の差が軽減するのではないかと。
- ◆企業派遣の利用を増やすべきではないか。非常勤の先生で産休に入った教員に働いてもらうのは難しいのか？

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・卒業後の状況の把握が出来ていない。

② 今後の改善方策

・SNS・ウェブを活用・強化し、情報収集しやすい環境をつくる。

③ 特記事項

・退学率は低減している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

新卒のプライダル業界の3年の定着率は50パーセント以下なので、そこに力を入れるよりも就職に力を入れたほうがいい。卒業生がどこの企業で何年働いてどの役職についているかがわかれば在校生の就職サポートにも役立つ。学校と企業が協力してマークしていく。中途での採用のほうが行きたいところに行きやすいが、経験者の応募は少ない。辞める一番の理由は理想と現実のギャップで、お金をもらうことに罪悪感を抱く新入社員が多い。ビジネスより社会貢献の意識が強い。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・離職率の把握ができていない。
- ・卒業生支援の充実を図りたい。
- ・卒業生がどんな支援を求めているかを把握できていない。

② 今後の改善方策

- ・同窓会サイトを活用していく。
- ・より難易度の高い資格取得の為のサポートを行う。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ◆障がい者の受け入れなどは難しいのか。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・特に大きな問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・携帯用ハザードマップの配布を行った。
- ・緊急時対応の為の研修を、会議にて実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

◆特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特に大きな問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④学校関係者評価委員会コメント

◆特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

◆健全な運営ができており評価できる。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・自己評価から出た改善箇所・問題箇所の改善を進める。

② 今後の改善方策

・改善策を具体的に提示し、全体で取り組んで行く。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・自治会と連携し、地域清掃を月1回行っている。
- ・地域のイベントのボランティアを積極的に実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

◆特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

退学率の低減という目標を達成することが出来、学校全体で統一した指導を行えた結果である。よりその精度を高め、生徒個々が感じる矛盾点等を無くしていきたい。

また、自己を振り返る機会を持ち、それを改善に移してくプロセスをしっかりと考える事が今後より必要となる。地域や業界から求められる、必要とさせる学校になるため、今後も課題を把握し学校運営をしていく必要がある。

学校関係者評価委員会コメント

- ◆健全な運営があるからこそ、入学希望者の数も増え安定した学校運営が出来ているのだと感じます。
- ◆このような機会を今後も定期的に持ち、意見交換をすることで業界の今を伝え、入社してくる学生達の特性も知れる機会になり、両者にとって有意義な機会となった。